

会長	副会長	幹事長	局長	次長	主 幹	係長	主係

## 第4回神崎町・大河内町合併協議会 新町建設計画小委員会会議録

開会日時 平成16年5月30日（日） 午前9時

場 所 神崎町ケーブルネットワーク局舎

神崎町・大河内町合併協議会

## 神崎町・大河内町合併協議会第2小委員会委員名簿

### 第2小委員会（新町建設計画小委員会）

#### 協議会委員関係分

	氏名	区分	分科会	備考	出欠
1	奥野恒夫	第2号委員	総務文教	神崎町	出
2	高内直喜	"	産業建設	大河内町	出
3	井上秀男	第3号委員	民生福祉	神崎町	出
4	岩本精介	"	"	大河内町	出
5	尾上徳美	"	"	神崎町	出
6	上垣博	"	産業建設	大河内町	出
7	高橋勝洋	"	総務文教	神崎町	出
8	立岩三代子	"	産業建設	大河内町	出
9	日和貞憲	"	民生福祉	大河内町	出
10	中山祐美子	"	総務文教	神崎町	出
11	廣納正	"	産業建設	神崎町	出
12	藤原博一	"	総務文教	大河内町	欠
13	藤原鉄也	"	"	神崎町	出
14	藤原安晴	"	民生福祉	大河内町	出
15	堀口勝久	"	産業建設	神崎町	出
16	松山陽子	"	民生福祉	大河内町	出

#### 町長指名委員関係分

	氏名	分科会	備考	出欠
1	児島英雄	総務文教	大河内町	出
2	大仲正記	"	"	欠
3	大谷郁雄	産業建設	"	出
4	小寺敏樹	"	"	出
5	山下和彦	総務文教	"	出
6	大中康寛	"	"	欠
7	井上隆弘	産業建設	神崎町	出
8	西畑強	"	"	出
9	奥野恵作	"	"	欠
10	坂田篤彦	民生福祉	"	出
11	難波義博	"	"	出
12	藤原日順	総務文教	"	出

会 議 録

会議の名称	神崎町・大河内町合併協議会新町建設計画小委員会	
開催日時	平成16年 5月30日(日) 開会 9時00分 閉会 11時34分	
開催場所	神崎町ケーブルネットワーク局舎	
議長氏名	井上秀男	
出席者氏名	別紙「出席者名簿」のとおり	
欠席者氏名	別紙「欠席者名簿」のとおり	
会議事項	<p>1 新町建設委員会分科会の報告と意見交換  (1) 民生・福祉分科会  (2) 産業・建設分科会  (3) 総務・文教分科会</p> <p>2 次回新町建設計画小委員会の開催について</p>	<p>2 会議結果  報告・意見交換  報告・意見交換  報告・意見交換</p> <p style="text-align: center;">6月16日</p>
会議の経過	別添のとおり	
会議資料	別添資料あり	

会 議 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
内藤（事務局長）	<p>おはようございます。</p> <p>本日、第4回の新町建設小委員会を開催させていただきました。</p> <p>小雨模様のあいにくの日でございますが、ご案内いたしましたとおり、ご多用の中お繰り合わせの上ご出席いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>初めに当たりまして、井上委員長さんからごあいさつをいただきます。よろしく願いいたします。</p>
井上（委員長）	<p>皆さん、おはようございます。早朝からご苦労さんでございます。一言ごあいさつを申し上げたいと思います。</p> <p>田植えも終わりました、その後の天候にも恵まれまして、稲は順調に生育しているようでございます。農家におかれましては、今、一息入れられておる時期ではないかと思えます。</p> <p>今日は新町建設計画小委員会を開催をさせていただきました。委員の皆さん方には、月末、しかも最終の日曜日でございますし、しかも早い時間帯ということで、それぞれご予定があったかと思いますが、まげてご出席をいただきましてまことにありがとうございます。</p> <p>当委員会も、委員の皆さん方のご協力によりまして、回を重ねて4回目を迎えるわけでございます。とりわけ、去る5月14日の委員会におきましては、新しいまちづくりにつきましてのワークショップをお願いをいたしました。委員の皆さん方に大変なお骨折りをいただきまして、まことにありがとうございます。本日は、そのまとめについて発表していただくことになっておりますので、よろしく願いを申し上げます。一言ごあいさつといたします。どうもご苦労さんです。ありがとうございます。</p>
内藤（事務局長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、この後引き続きまして、委員長に進行していただくわけでございますが、なお本日、藤原博一委員さん、大仲正記委員さん、大中康寛委員さんからはご欠席の通知を受けております。なお、立岩三代子さん、井上隆弘さん、廣納正さんにつきましては、途中退席されるという連絡を受けておりますので、よろしく願い申し上げます。</p> <p>なお、コンサルからも千田さんに同席をいただいております。</p> <p>以上でございます。</p> <p>委員長、進行をよろしく願いいたします。</p>
井上（委員長）	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、本日の出席の確認をいたします。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
浅田（事務局）	<p>本日の出席は28名中23名の出席をいただいております。よって、定足数に達しておりますので、会議は成立いたします。</p> <p>それでは、議事を進めてまいります。</p> <p>前回の第3回新町建設小委員会では、3つの委員会ごとにワークショップを行っていただき、テーマごとに各地域における具体的な状況、課題の要因、改善していくための必要な取り組み等について作業をしていただきました。</p> <p>今回はその結果を踏まえ、分科会ごとに発表いただく方を決めていただいておりますので、テーマごとに発表をいただきます。一つのテーマの発表が終わりますと、委員さんから、意見、質問等で意見交換をしていただきます。このようなことで進めてまいります、事務局からもう少し具体的な説明をお願いをいたしたいと思っております。</p> <p>事務局、お願いをいたします。</p> <p>それでは、皆様、おはようございます。本日第4回目の新町建設計画小委員会ということで、全体会を開催させていただきたいと思っております。</p> <p>先ほど委員長からご説明がございましたように、本日皆様方のお手元の方に前回ワークショップをいただきましたまとめという資料と、それからたくさん宿題を整理していただきまして、付箋をたくさん張っていただきましたA3の大きなそれぞれまとめをしたものと、2種類お渡しをさせていただいております。これらを踏まえながら、ただいまから民生・福祉、産業・建設、総務・文教、それぞれに各部会とも3つの課題があったかと思っております。それぞれ1つずつの発表を各分科会からいただき、それに対して、他の分科会の委員さんからも含めて全体の中で意見交換、そういったものをしていただきたいというふうに考えておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>なお、一つの課題等につきましては、発表の方は、できたら10分以内ぐらいを目途にやっていただきたいというふうに考えております。</p> <p>まず、民生・福祉の分科会につきましては、坂田篤彦委員さんよりご発表をいただきます。次に、産業・建設部会は小寺敏樹委員さん、最後の総務・文教委員会につきましては藤原日順委員さんに、それぞれ分科会の発表をしていただきたいというふうに考えておりますので、よろしく願いしたいと思います。</p>
井上（委員長）	<p>以上でございます。</p> <p>ありがとうございました。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>今、事務局より説明がございましたが、何か質問がありましたらお受けをいたしたいと思います。</p> <p>ございませんか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p> <p>ないようでございますので、私の方からお願いを1ついたしておきたいと思います。</p> <p>質問等をされる方につきましては、挙手をしていただきまして氏名をお願いをいたしたいと思います。よろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは最初に、民生・福祉分科会のワークショップの結果の発表をいただきます。</p> <p>発表者の坂田委員さん、よろしくをお願いいたします。</p> <p>最初は、テーマ1の「高齢者の生きがいづくり」についてでございます。よろしくをお願いいたします。</p>
坂田委員	<p>民生・福祉分科会のお世話させていただいてます坂田でございます。座って報告させていただきます。</p> <p>A3の方にまとめていただいているのが、前回のワークショップでそれぞれの付箋紙に張って引き出した内容でございます。まとめて大きく書いてありますが、黒い丸でしているのが要約した内容的なものでございます。そうでなしに、枠の頭がないのでちょぼちょぼが入って、下の方は特にそれが多いんですが、これはその場で意見交換がされたものがかなり入ってるものがございますので、その辺は同じことでございますので、一々それを系統立てて説明するには時間を要しますんで、A4の方で、簡単にまとめていただいておりますので報告させていただきます。</p> <p>まず、「高齢者の生きがいづくり」について、前回のワークショップで欠席者の方もございましたんですけども、その方からは文書でメモが提出されまして、付箋紙の方に添付して皆で検討いたしました。</p> <p>概略的に申しますと、やっぱり高齢化が、これもここだけの話じゃないんですが、進んでおりまして、その辺のところ大きな課題であるというふうに、取り組んでいく必要があるというふうな認識でございます。</p> <p>特に、交通に関する意見が結構出されまして、それと後の安全の方にもつながっていくわけですけども、やはり距離の中央に、中央と申しますか病院なんかから離れた地域には、やはり消防にしても救急にしても時間がかかるというようなこともございますし、医療施設へ行くには交通機関が少ないというような、そういう問題もございま</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>す。</p> <p>それから、特に高齢者の方につきましては、それを利用する必要性というんですか、やはり自分で車が運転できないというふうな状況、まして病気になればそういう問題が出てくるというような意見の中で、いろんなことが出てきておりました。</p> <p>特に、高齢者の活動につきましては、高齢者が参加できるようなやっぱり地域活動が必要であろうと、そういうような機会とか場、それとやっぱり世代交代、交流があれですが、世代間の交流がやっぱり地域で必要になってきてるんじゃないかというような意見が出ております。</p> <p>これらの要因としては、活動場所とか公共施設のバリアフリー化、そういうことが一つのそういう機会を少なくしていることではないかというふうに皆さんの意見でまとめております。</p> <p>それから、ひとり暮らし、これも何もこの地域だけやないんですが、そういう高齢者が増えておると。ひとり暮らしの方、夫婦だけの老人世帯も増えてきておりますんで、そういう寝たきり老人に見られるような状況は何とか改善したいというような気持ちで、取り組みが必要であろうというような意見がありました。</p> <p>それから、寝たきりになって困っている高齢者については、地域とのやっぱりつながりというんですか、近所、向こう三軒両隣のつながりも含めて、やっぱり地域とのつながりがどうしても今の時代希薄になってきてるんじゃないかというようなことが、一つの要因として指摘されております。</p> <p>その次に、最後に下の方に、A3の方の資料にも下の方にまとめているいろいろと意見が出ておるわけですけども、十分な、前のワークショップでは検討する時間がございませんでしたが、いずれにしても高齢者の生きがいづくりにかかわる活動とやっぱり機会の場というのを何らかの形で充実していく必要があるというような意見が、一区切りしたまとめとしては考えられるんじゃないかと、こういうことでございます。</p> <p>いずれにいたしましても、今の両町でこういう意見についての温度差というものは、感じたようなものはございませんでした。だから、両方、合併後も一つの同じ、足並みをそろえた取り組みができるものはこの機会に一つのアイデアを考え出して、取り組んでいけるものがあれば、一步でも前へ進めるように努力する必要があるんじゃないかと、このようにまとめております。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>以上でございます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの発表に対する意見やお聞きになりたいことがございましたら、どうぞ。</p> <p>どなたからでもよろしゅうございますので、お願いをいたします。ございませんか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
井上（委員長）	<p>ないようでございますので、次はテーマ2の「若者の流出抑制」についてお願いをいたします。</p>
坂田委員	<p>若者、「若年層の流出抑制」という、こういう課題でございますけれども、これは民生・福祉だけでなしに、やはりもっと町全域というんですか、この神崎・大河内の中山間地域の位置的な、地理的な問題とか、気候、風土の問題とか、いろんな総合的な中でやっぱり、それと終戦後60年たっているいろいろと活動してきた産業の中での歴史の中で、やはりこういうものが、ここの町だけの話じゃなしに全国的な問題であろうという中で、一つのテーマとして上げられてきて、どうしたら何か、施策ができるんじゃないかというような大きな課題でございます。</p> <p>特に、なぜ若者が流出していつてしまっているんやと、こういうことから始まったわけですけども、なかなかそういうことにつまましてはどこからつかまえていいかというのは難しゅうございます。先ほど言いましたように、やはりいろいろな地理的な条件、歴史的な産業の流れの中で、こういう状況が生じてきているんじゃないかと。もっとやっぱり横断的に、単に若者流出という断面だけをとらえるんじゃないし、総合的なやっぱり連携を取った施策が最終的には必要であろうと思います。</p> <p>中で、意見としては、働く場所、やはり地場産業とか地域内の産業をもっともっと振興を図る必要性があるんじゃないかと。この辺のところ、大きな受け皿になってほしいということが重要な課題であろうというふうに皆さんの認識は一致しておりました。</p> <p>当地域に、それからやっぱりこれだけの自然と、豊かな自然と、ここに温かい心を持った人間がいるんですから、やはりそこでここの町の魅力というものをもう一遍探し出して、そういうところを若者たちにも一緒に考えてもらったらというようなことが意見として上げられました。</p> <p>それともう一つは、やっぱり小さい子供たちの少子化という問題の</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>中で、若者が少ない少ないと言うんやなしに、やっぱり子供がそこでやはり親が働ける場があれば、子供を預けて安心してそういうところで生活環境というのを整えていけるような、やはりそういう場所というのも必要であろうということが指摘されております。</p> <p>そして、子供が安心して大きく育てられるように、保育施設の問題とか保育料の問題とか、やはりそういう、高齢者の福祉も大切ですけども、新しい、若い子供たちが成長していくためのそういう福祉支援というんですか、そういうものも必要であろうというような意見が出されております。</p> <p>それと、やはり時代の流れの中で、明治以降続いてきた家族制度というものが戦後壊れていって、今のようにだんだん核家族化が進んできたわけでございますけど、そういう状況の中で、やはり住むところというのはなかなか適当なものが見つからないというようなことで、今の時代に合った公営住宅というのですか、やっぱり住みやすい家、子育てができるような環境、雰囲気というのが求められてきているような中で、新しい取り組みもやっぱり必要じゃなかろうかというような意見がありました。</p> <p>ここでも大きな論議をすることはできませんでしたが、やはり産業の振興と子育て支援、町の活性化に伴う、そういう安心して子供たちが住めるような、育てられるところがあればというところが、若者の流出を抑制する、歯どめをかけられる、全体的な意見としての話でございます。</p> <p>以上でございます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま発表がありました「若者の流出抑制」について、ご意見等お願いをいたします。何でも結構でございます。</p> <p>どなたかございませんか。</p> <p>ございませんか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
井上（委員長）	<p>ないようでございますので、先に進めさせていただきたいと思えます。</p> <p>3つ目のテーマは、「すべての人の安全・安心の確保」についてでございます。</p> <p>発表をお願いいたします。</p>
坂田委員	<p>それでは引き続いて、「人の安全・安心の確保」という大きな課題でございます。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>これにつきましては、もう人間の歴史始まって以来、やはりずっと取り組んできた中で、今の現在の神崎・大河内につきましてはかなりの体制整備もできておるわけでございますけども、いずれにしましても、先ほど申しましたように、高齢化、少子化といういろんな条件と、それから地理的条件の中で、やはり消防団員の不足とか、そういうようないろいろな問題が現実にあらわれてきとるのも事実でございます。</p> <p>このような中で、将来的に見てどうしたらいいんかというのが一つの課題であろうと思いますけど、現状では地域内で消防団員が少なくなっていることについては、やはり何らかの形で、地域内で働いている人などが少ないという問題も含めて、体制を考える必要があるんじゃないかというような意見が出ております。</p> <p>それから、地元におる人の、やっぱり年寄りも若者も子供たちも、そういう危機感の意識が、特にこの地域は温暖であり災害も少なかった歴史的なあれもあるんでしょうけども、やっぱり意識が低いというのも一つの指摘がございまして、やはりそういうことはふだんからそういう訓練なり啓蒙なりする必要があるろうというような意見も出されております。</p> <p>それから、やはりいざというときの緊急時の情報伝達とか、救急車、消防車、そういうものがやはり問題があるんじゃないかと。特に、町を離れたところにあるのは中播消防が来るのに30分もかかるというようなことでは、救急にしても消防にしても間に合わへんやないかというようなこともございまして、やはりそういうところでのお互いに、先ほども申しましたように、助け合う、情報を連絡し合う、共有し合うて早いこと伝えて協力を得られるような体制が必要やないかと。経済的に許すならば、やっぱり救急車、消防車に対しての出張所ができるだけ近いところにあつたらいいんじゃないかと、こういうような意見も出されております。</p> <p>特に、情報伝達については即ち流れるようなCATVなどを活用する必要も十分あるろうというふうな、そういう体制も充実が必要であろうというような意見も出ております。</p> <p>また、防犯に関しても、先日来何か子供たちにいろいろというようなことも出ておりますけども、やはり悪徳商法の問題とか高齢者に対するおれおれ詐欺みたいなもんも、何か両町の中では最近もあつたようでございますけど、こういうことを含めて、やはり近所同士でのコミュニケーションというのは、一番大きな防犯に対しても重要なとこ</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>るであろうというふうなことが指摘されております。</p> <p>だから、これからどういう仕組みづくりをしていったらいいんか。結局、新しい町になったときのことで、この機会にそういうことの仕組みをもう一遍やはり考え直して、地域のつながりを強化した防災・防犯に対する緊急時の助け合い、支え合いのための体制がやっぱり大きな課題ではなかるうか、重要であろうというような意見でまとめております。</p> <p>以上でございます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの発表についてご意見等お願いをいたします。</p> <p>どなたか、ございませんか。</p> <p>ございませんか。</p> <p>どうぞ。</p>
日和（副委員長）	<p>私、民生・福祉分科会に所属しておりまして、今、以上のとおりでございますが、私が忘れておったといたしますか、その場で意見が言えなかったことなんですけれども、この項目についてどれかに入るといことはちょっと分けにくいかもわかりませんが、JRの播但線の複線化、これについてやはり必要ではないかなというのを忘れておりましたので、入れていただいたらというふうに思います。</p> <p>それで、今もう一点は、取り組みに関することについては今後どう取り扱われるのか、意見交換をしてなかったということですので、その点もお伺いしたいと思います。</p> <p>以上です。</p>
井上（委員長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>ほかに、ございませんか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
井上（委員長）	<p>ないようでございますので、これで民生・福祉分科会の発表を終わります。次に移らせていただきます。</p> <p>次は、産業・建設分科会のワークショップの結果を発表させていただきます。</p> <p>発表者の小寺委員さん、よろしくをお願いいたします。</p> <p>まず、テーマ1の「自然環境の維持管理」でございます。よろしくをお願いいたします。</p>
小寺委員	<p>失礼いたします。産業・建設分科会の小寺でございます。</p> <p>私たちの文化会では3つの課題の柱ということで、1つ目は「自然環境の維持管理」について、2つ目は「産業の担い手確保」、3つ目</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>は「個々の観光地やイベントどうしの連携」についてということで、話し合いをさせていただきました。</p> <p>お手元の資料でございますように、A3のもので大きく皆さん方の付箋に書かれたものをまとめ上げたもの、そして先ほども言われておりましたA4で産業・建設分科会ということでまとめ上げられてるものを資料としてお目通しいただきたいと思います。</p> <p>詳細については、先ほど坂田委員さんの方から申し上げられておりましたように、各項目ごとにくくりをしております。その中でお聞きいただければなど考えておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、座って説明させていただきます。</p> <p>それでは、委員長から申されました「自然環境の維持管理」ということで、私たちの分科会におきましては、欠席者については付せん紙で提出をいただいた中でまとめ上げております。</p> <p>まず、各地域における具体的な状況ということで、出された話の中で農地、河川、山林ということで3つの課題が論点となりました。農地につきましては、農地の荒廃、休耕田の増加、河川につきましては、河川の水質悪化、水量減少、山林につきましては山林の荒廃ということで、話をいただいております。</p> <p>まず、農地の荒廃、休耕田の増加に関することにつきましては、大変田畑の荒廃や休耕田の増加が昨今見られている。その要因はなぜなんだろうというふうなことで、農業従事者の不足、農業の採算性の低下というふうなことは、非常に大きな原因になってるんじゃないかなと。それにより、耕作放棄等の状況が現在進んでいるんじゃないかなというふうなことが挙げられております。</p> <p>それから、その農業に関しては、改善策等に対する取り組みとしては、現在学校での農作業の体験の推進や若者層が農業にかかわりながら地域に定住できる環境づくり、さらには都市住民との交流を通じた休耕田の活用、いわゆる貸し農園なんですが、そういった形でグループ活動の場として活用されて、都市との交流も現在図っていかれてる場所もございました。</p> <p>特に、民生・福祉の方でも言われておりましたように、やはり従事者を増やすというので、共通のテーマとして、また後にも出てくるんですが、やはり若者たちが住める環境づくりを作っていくとだめなんじゃないかなというふうな話が出ています。</p> <p>次に河川、3つの論点の一つ、河川の状況なんですが、現在河川の水質悪化、水量減少に関する事ということで、柱を立てて話をさせ</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>ていただきました。</p> <p>越知川、猪篠川というふうな形でこの資料には出てるんですが、越知川、猪篠川だけじゃなく、市川についても小田原川についても犬見川についても、大変生活環境の整備が整いまして、いわゆる生活排水の方では大変きれいになっているように思います。ところが、やはり2次排水の分、2次排水というのは処理場からの排水の問題、そういったものの、今まださらに浄化する必要があるんじゃないかなというふうなことで、話がされております。</p> <p>特に、生活排水の放流がやはり自然そのものの持つ浄化作用を低下させている要因となっているんじゃないかなというふうなことで話が出ております。また、水源については、やはりダム建設、水害対策と自然保全というんですかね、どちらを優先するかというふうな問題があるんですが、やはりこれらの問題によりまして、自然の持つ、先ほど言いました浄化作用そのものが低下してきていて、要らんものが河川の方に繁殖しているような状況になっているということ、やはり自然を大事にする神崎・大河内町両町の問題でございますので、その辺をやっぱり住民一緒になって取り組んでいく必要があるんじゃないかなというふうな話が出ました。</p> <p>次に、山林の荒廃に関することですが、現在人工林が多く、広葉樹林や雑木林が減少しています。また、人工林についても間伐等の維持管理が十分行えていない状況が挙げられております。</p> <p>その要因というのは、生活様式の変化による木材需要、木材価格の低下が、従事者の減少、労働意識の低下につながって、間伐等の労務を十分に行えないことを挙げられ、またいわゆる3K問題ということで従事者がそちらを離れていく、若い者がそちらの方に従事しないというふうな状況にもなっているんじゃないかというふうな話も出ておりました。</p> <p>特に、この大河内・神崎につきましても、大変いい材木があるんですが、最近ではやはり内地産材が大変高くなってきている。そういった状況と輸入による安価な材木による住宅建築が進んでいって、何とかしてこういった地元産材の価値を見出すことが今後は必要なんじゃないかなというふうにご考えております。</p> <p>それと、山林を維持管理していく上では、森林ボランティアの連携や植樹や森づくり、間伐作業等への住民の参画を呼びかけ、山林の魅力を訴えていくことが、今後の木材資源の利用促進、林道の整備による作業環境の向上などにもつながっていくんじゃないかなというふう</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>な話が出ておりました。</p> <p>特に、各団体、行政、住民の協力による取り組みというふうなことで、安定した家族生活ができるよう、可能な対策を行政が第一に考え、支援が必要じゃないかなというふうな話も出ておりましたことをご報告申し上げます。</p> <p>以上でございます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま発表のありました「自然環境の維持保全」につきまして、委員さんの中でご意見やお聞きになりたいことがございましたら、お願いをいたしたいと思います。</p> <p>かたくならずにざっくばらんにひとつ話をさせていただいた方がいいんやなかろうかと思えますんで、どんなことでも結構でございますので、ひとつそれぞれ思われたことをご発言いただきたいなと、こういうように思います。よろしくをお願いいたします。</p> <p>どなたか、ございませんか。</p> <p>どうぞ。</p>
山下委員	<p>大河内町の山下です。</p> <p>この次の課題の柱2にもちょっと関連するかと思うんですけども、農業というのは私も勉強不足なところ大変あるんですけども、最近先ほどの方でも、民生・福祉分科会の方でもありましたけども、農業の担い手となる現状として両町、日本全国そうだと思うんですが、第1には高齢者の方が中心になってやっておられるということと、もう一つ、一方ではサラリーマンしながら休日などを農業で過ごす、やられてる兼業農家という方が大体中心でやられてると思うんですけども、その場合ですとやはり農業というのは非常に労働時間というのを大変長くとられるということで、機械化なり農薬とか化学的な肥料での対応がなされると思うんですけども、そうするとますます今後農作業にかかわる人々が減っていくという現状を考えると、そういうのがますます今後進んでいくんじゃないかなというふうに私は思うんですけども、そういう面から考えると、農業が及ぼす自然環境に対する影響というのは非常に負荷が大きいんじゃないのかなというふうに素人ながら思うんですけども、その点、例えば今後は、新しい新町作った場合には、労働という面、労働というか農作業という部分をより楽にさせていこうとするのか、もしくは自然環境を管理、維持する方を非常に重視していくというか、その比重というのは今後どういうふうにとらえていくべきなのかなというのが、一つこの新町を作り出す上での非</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
小寺委員	<p>常に大きな比重のウエートのかけ方という部分になってくるんじゃないのかなと思うんですけど、その点何か意見とか出されましたでしょうか。</p> <p>大変貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>ただ、おっしゃるとおりでございまして、確かに機械化なり進んで、いわゆる採算性をとるのか、従事者を増やして自然環境を、逆に言えば保全するための施策でもって進んでいくのかというふうな話だと思うんですが、これにつきましては十分にそこまで話しすることもできませんでした。特に、そういった問題について今回の分科会で話しすべきことなのかどうかというふうなこともございまして、そこまでは今回は触れておりません。今後、こういった機会がございましたら、そういった面も考えた上で話しされていくものと思いますが、やはり私自身の考え方といいますと、やっぱり今おっしゃってました兼業農家が大変多うございまして、農業に従事する時間もやっぱり機械化に頼って、また営農組合等に頼って、その家の方が従事されないというふうなこともございまして、この中でもちょっと話が出てるのは、いわゆる農業でも食っていけるといいますが、食べていけるような、生活ができる環境というのはどうなんだろうという中で、いわゆる農事法人だとか、今回神崎・大河内で作られているものを本当に特産として生かしたような形でのブランド化と、そういうふうな話は多少触れられておりましたように思います。</p>
井上（委員長）	<p>以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>どなたかほかに、ございませんか。</p> <p>どうぞ。</p>
奥野（恒）委員	<p>神崎町の奥野です。</p> <p>もう既に話がたびたび出とると思いますんですけども、要は農林業、基幹産業ですけれども、産業としての確立、採算がとれんということが一番原因ということはわかっておるわけなんですけども、我々の昔からの農作業から見まして非常に楽になった、あるいはまた便利になったというふうには思うんですけども、若い人については大変な重労働だというふうには受けとめられると思う。それをボランティアとかある程度趣味でやる場合は問題ないんですけども、継続的に産業として継続していこうとすれば、やはりある程度現状では国の政策からいうと支援策が必要であると。</p> <p>特に、農業につきましても、中山間地の直接支払い制度が5年ほど</p>



発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>1次産業に対する地域の基幹産業としての認識が低下してきた。また、地域内において、受入先となる企業や雇用の場が少ない等が実情として挙げられております。</p> <p>一方、農業、林業に代わる新たな基幹産業が不足していることが挙げられ、地域の特性を再検討し、町としての基幹産業の構築が必要であるとの考え方が示されておりました。</p> <p>第1次産業の担い手の減少に関することというのは先ほども触れたと思うんですが、農業、林業につきましては、従事者の高齢化や担い手の減少が見られる。それに伴い、生産環境が変化しているなどが挙げられておりました。</p> <p>その要因としては、何遍も触れるようですが、農産物、木材ともに自由競争等による価格の低下の影響を受け、採算性が確保できない状況になってきている。また、労働の厳しさなどから、若者の農業、林業離れが進んでいるのではないかとということで、両方、両産業についてはだんだん担い手が不足している中で、一定の機械化が進んでいたりしているというふうな状況が両町には見られるというふうなことが挙げられてきております。</p> <p>また、先ほどもちょっと触れたんで、これ何遍も同じようなことなんですが、いわゆる生産物の価格低下に対しての対策としては、商品のブランド化や、より効率的な作業環境の確保などが必要であるというふうなことは話されておりましたが、これにつきましては先ほどもちょっと言いましたが、農業法人化とか林業につきましては作業用道路の整備等々が挙げられておるところでございます。</p> <p>それから、農林行政に対する姿勢ということで、今回挙げられておりました、行政内部における第1次産業の振興に関する取り組みの姿勢が縦割りのであり、行政が一体となった振興の取り組みが不足しているのではないかとというふうな委員さんからの指摘もございました。このため、住民と行政がよきパートナーとなって、このような重要な課題に取り組む関係づくりや行政からの支援対策の実施が必要ではないかなというふうなことが提案されておるところでございます。</p> <p>特に、今回話をしていた中で、どうしても今回の課題のテーマの中でちょっと書いてあったことが農林業に関してというふうな感じで、特に書かれておりました。そういった中で、農林業、大河内と神崎につきましては漁業もでございます。農林漁業、それから商工業、観光業を含めた地域産業の複合化による多様な産業活動の展開による地域経済の安定、活性化に進めるような、もっともっと話し合いの場が必要</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>なんではないかなというふうなことも挙げられております。</p> <p>特に、やはり人口を増やす、いわゆる若者の定着を目指す上においては、どうしても若者たちが住める環境づくり、特に就業する場、雇用の創出ができるような施策が今後進められないことには、なかなかこれも定着しないのではないかなというふうなことも挙げられております。</p> <p>それから、この大きな資料の中にもあるんですが、ちょっと言いにくいことで申しわけなかったんですが、第1次産業の担い手確保の中の2段目の一番右側になるんですが、行政内部の横のつながりがないというふうな大変厳しいご批判もございましたので、この辺につきましては私らはなかなか触れることもできないんですが、その点もよくご検討いただきまして今後の計画づくりに頑張ってくださいたらなと、かように考えております。</p> <p>以上でございます。</p> <p>よろしいですか。小寺さん、よろしいですか、以上で。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、発表がありました内容につきましてご意見等をどうぞ。</p> <p>どうぞ、お気楽な、気楽な気持ちでひとつご質問いただけたらなと、こういうふうに思います。あまりかたくならないように、ふだん思っておられることを、また今感じられたこと等をひとつ積極的にご発言をいただければありがたいと思います。</p> <p>ございませんか。何でも結構です。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
井上（委員長）	<p>それでは、ないようでございます。</p> <p>次に進みます。テーマ3の「個々の観光地やイベントどうしの連携」について発表をお願いをいたします。</p>
小寺委員	<p>それでは、3番目、「個々の観光地やイベントどうしの連携」についてということで、当分科会では観光施設の特色、それから連携不足、イベントへの参加意識の低迷というふうなことでお話をさせていただきます。</p> <p>特に、施設の魅力、整備の不足につきましては、いろんな話が出たんですが、なぜそれが無いのかというふうな状況なんですが、いわゆる町内観光施設の来客者が少ないだとか、経営収支がよくない、それから料理のメニューに新鮮さが無いというふうな具体的な例まで出ております。</p> <p>町内観光施設の来客数が伸び悩んでいる要因としては、類似施設の</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>分散配置や施設の組織間の連携が行われていないなどが挙げられています。</p> <p>それからまた、観光ルートが不明確であることや、宿泊を含め長時間地域に滞在する観光形態になっていないというふうな指摘もございました。</p> <p>そういった原因が、利用者のニーズを踏まえた各施設の適切な更新や観光協会等の組織強化に加え、住民や職員一人一人が互いに連携し協力しながらの地域環境をよくしていくような、そして来訪者をもてなす気持ちで今後は接していくことが、施設の魅力なり地域の魅力につながっていくのではないかなというふうな話も出ておりました。</p> <p>それから、観光地なんですけど、観光地の巡回を促すためには、観光ルート及び手段の確立に加え、両町間を結ぶトンネルの整備など、ハード、ソフト両面からのアプローチが必要であるとの意見も出ておりました。特に、新町を建設されるようになれば、当然町の魅力を十分に発揮できるような形で計画を進めていく必要があるんじゃないかなということと、それからレクリエーションゾーンなどの、連携による創出になるんですけど、そういったことにより情報の交流や推進を図っていくことが、今後神崎・大河内両町を訪れられるお客さんにとっても十分な魅力につながっていくのではないかなというふうに考えております。</p> <p>それから、イベントどうしの連携というふうなことで、イベントへの参加意識の低迷というふうな形で柱を立てたわけなんですけど、イベントについては両町とも大変多く現在やられております。しかしながら、開催しても他地域住民からの参加者が少なく、本来の目的であります交流が余り図れていないというふうなことも報告されておりました。</p> <p>ただその一方で、ほたる祭りやグリーンカーニバル、すすき祭り、山焼きなど特色あるイベントも現在のところ開催されておまして、特に近県の方からの来訪が大変多くなってきているところもございませう。</p> <p>このような形で、イベントを一生懸命して交流を深めていこうと試みてる中で、やっぱり何か足りない。それが来られる人にも伝わらないといいますが、伝わっていないというのは、まず何をしなくてはならないかということ、町内の住民自身が積極的にイベントに参加する、そういった意識を持っていくことが今後必要なんじゃないかな。だれかがやってる、そうじゃなくて、みんなでやっているんだというふう</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>な意識を持ってやっぱりやっていただかないと、その気持ちが外につながる事が一番大事な交流のための一つの起爆剤になるんじゃないかなというふうに思います。</p> <p>そのよさが、やはり外部にPRされていくことが、都市住民に対して、田舎に来たという、こんな田舎に来てよかったなというふうな印象を与えるというふうなことが生まれてくるんじゃないかということで、こういった形の企画内容も十分検討していく必要があるんじゃないかなというふうなことが話として出ておりました。</p> <p>それから、特にいろんな形でイベントもされ、神崎町におかれましては観光協会の方ではボランティアさんなどを募集し、そういった形で現在活動されており、今十分なもてなしがされておると思います。ただ、神崎町・大河内町のせっかくの施設があっても、それを現在連携されていない、お互いの情報交換ができてないというふうなことはまだ見受けられる。今後、そういったことを考えながら、お互いがお客さんを回していくと言ったら変なんですけど、お客さんが巡回していけるような機能を持った関係づくりをしていくことが、今後必要な課題なのかなというふうに思います。</p> <p>そのためには、特に行政の皆さん方にも今後ともそういった支援策を考えていただいて、そこにそれぞれございますそういった観光協会等の団体を通じて地域でのサークル活動、そういったものを進めていくことによって、またいろんな考え方が生まれてくる中で、大きな連携ができていくんじゃないかなというふうに感じました。</p> <p>それから、ちょっとこの柱から離れるんですが、この中でちょっと当てはまらない課題として出ておまして、先ほど説明すりゃよかったんですが、ちょっと落としておりましたので、ここに書いてありますように、観光地やイベントどうしの連携から離れますが、この分科会での意見ということでちょっとお聞きいただけたらと思います。</p> <p>商工業に関することにつきましては、工業団地の建設、企業誘致や地域活力の向上に余り寄与していないのではないかと。</p> <p>公共工事等の地域業者への発注や、地元産品を地元で購買するといった地域内での経済循環が行われていない。地産地消を初めとした地元産業の育成につながる取り組みが必要ではないかということのこと。</p> <p>それから、道路交通に関することにつきましては、高速運転する自動車が増えていることから、車線の拡幅が必要な路線があるのではないかと。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>巡回バスの利用者が少ないことから、利用者のニーズを確認し、運行区間の拡大や駅などの主要目的地との直接運行を図るなど、運行形態の見直しが必要ではないかなというふうな意見が出ておりましたことをご報告申し上げ、終わらせていただきたいと思います。</p> <p>以上で終わります。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの発表に対するご意見、何でも結構でございます。どうぞ。</p> <p>どうぞ、ございませんか。</p> <p>どうぞ。</p>
松山委員	<p>済いません。大河内町の松山です。</p> <p>この中でもお話がありました観光地巡回ルートのことなんですけども、実は先日私の知り合いの方が姫路方面から寺前経由でうちの町内のホテルに泊られました。そういった方、高齢の方10名ほどのグループでしたので、その方はホテルを利用された後の観光地ということをまずご自分なりに計画立てたとは思いますが、ただ、その移動方法がないということで大変困られました。それを見ておまして、幾らかお手伝いをさせていただいたんですけども、ホテルは利用できても、いろんな自然を見ていただく機会をもっと作る必要があるんじゃないかと。</p> <p>そして、いろんな大河内町とか神崎町、そういったところでのいい面を見ていただいたら、次の利用というのか、次の人に広がっていくということにつながるのではないかと思います。私なりに考えたのは、観光タクシーとか観光バスと、観光巡回バスというような感じというんですか、案内ボランティアを養育していただいたりとか、そういった形で一日いろんなところを見ていただけるような、そういった交通整備も考えていただいたら、高齢者の方、車の運転できない方も、町内の方にいろんなところに来ていただける一つの手段にもつながるんじゃないかというふうに感じましたので、また考えていただきたいと思います。</p> <p>以上です。</p>
井上（委員長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>ほかに、どなたか、ございませんか。</p> <p>何でも結構でございます。</p> <p>どうぞ。</p>
立岩委員	<p>済いません。大河内町の立岩と申します。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>みんな全体の漠然的な意見になるかもしれませんが、農業の後継者の育成というのは男性中心だと思います。それでまた、女性といたしまして、今スローフードが世間では言われているんですけども、そのスローフードイコールおふくろの味、田舎の味につながると思います。</p> <p>それで、私たちも青空市をしているんですが、そのおふくろの味、田舎の味というのは、旬の野菜を使った料理、また手間暇をかけたつくだ煮とかというのがおふくろの味、田舎の味につながると思うんです。そのときに、町の人とのコミュニケーション、青空市は特に売り手と買い手のコミュニケーションが大事なんですけども、そういうことが一番大事になってくるんですね。だから、そういうふうな土地の人と、それから町の人との交流ということは本当に大事だし、またリピーターを増やす。ここでこういうものがいただけ、食べられたということが大事になると思うんです。だから、観光地によってもそういうふうなものの販売とか、それから本当に手作りの、小さなグループの手作りの味なんですけど、そういうものをもっと行政としても大事にしていきたいと思います。</p> <p>それから、大河内町だけで、神崎町だけではなく、もう少し広域的にマップというのは必要じゃないかと思うんです。私、この間散歩しておりましたら、地図を持って滝を見に来たと言われる老夫婦があったんですが、それが軽い服装なんです。それが宮野の一の滝、二の滝、三の滝と地図に載っているだけけれども、これはどのようにして行ったらいいかと聞かれたんですね。一の滝、二の滝、三の滝と地図には本当に載っているんです。しかし、とてもその方たちが行かれるような状態じゃないです。だから、近くのマップというのは老人に対してのおもしろい場所、お寺とか、それから趣味によってもまた違うと思うんです。子供を連れた遊びの場所、まだ神崎町、それから大河内町だけでもいいと思うんですね。子供さんがここに行って遊んで、またここで何かを食べて、またここでお昼から遊ぶとか泊まるとか、そうしたらまた高齢者の方によっては、きれいな花が咲いてたら、花のお寺があったり、それからこういうふうな花が今神社では咲いているんだとか、その季節季節の花とか、それから遊びとか、それからお祭りなんか、別々の、大河内町、神崎町別々ではなしに地域一体のそういうふうなマップがあれば、ここは何分で行けるとか、こういう交通手段があるとか、そういうふうなマップができたらいんじゃないかと思うんですが、いかがでしょうか。失礼します。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
小寺委員	<p>そうですね、いろんな形でのこちらの方へ来られる方に対する、今おっしゃったように、本当にそういった面では、先ほども言いましたように、もてなしの気持ちが出るようなマップづくりができればいいのにな、というふうな感じもいたします。そういったことが、来られた方に対して本当に優しさを伝えるといいですか、大河内町なり神崎町の魅力を伝えるものができるんじゃないかなと思っております。</p> <p>ただ、十分にそこまでいっていませんのと、今回の分科会ではそこまで十分検討する時間もなかった。今後の委員会でそういった話ができれば、先ほども言いましたように、商業全般の話だとかいわゆる産業全般についての話も踏まえた中で、当産業・建設分科会で話ができるのであれば、こちらの方で話を詰めて、行政の方、また観光協会の方々にもお話ししていく必要があるんじゃないかなというふうに、かように考えます。</p> <p>以上です。</p>
井上（委員長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>ほかに、ございませんか。</p> <p>どうぞ。</p>
高内委員	<p>大河内の高内でございます。</p> <p>小寺さん、どうもありがとうございました。</p> <p>私もこの産業・建設部会に入っておるわけなんですけども、全般にそこにまとめてありますように、特に農林業の問題が大きなテーマになったと思います。特に、林業の問題で、両町とも林業等の全体の比重が大変大きいわけなんですけれど、その中でも、人工林がほとんど占めておるような状態でございます。そういった中で、やはり木材の低下ということによって、管理業務者といいますか、少なくなっておる。森林組合が行っておりますのが、やはり行政の支援だというのがほとんどで、委託で森林組合がやっておるようなんですが、製材所も含めませんが、余り大きく伸びていないし、それで、大河内町においてももう森林組合が、それじゃ製材部門をやめようかというような話も出ております。</p> <p>しかしながら、私も議会にありまして、そういった現状に対しては、委員会で視察に鳥取県の方に行ったわけなんですけども、ここで智頭町の森林組合が、県の支援も受けておるわけなんですけども、一本買い取り運動ということで、2メートルもん、3メートルもん、4メートルもんと、何ぼで200円とか400円とか、そういうことで個人が1本持ってきても買い取るというような制度を作ってやってお</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>られます。大変、そういうことになりますと、200円の木やけど、それでも10本持ってきたら2,000円と、そしたら軽トラにでも積んで持ってきてるといようなことで、まゝ木の生育にもよりますけども、それぐらい、たとえ小遣い程度でも稼げるといようなことで、大変効果的やということ聞いております。</p> <p>それで、この製品をどういようにして使うておるんかというと、ほとんどが行政の仕事の方にみんな自主製作やってますといようなことでございますが、またそのまま丸太にして使うとか、それから角材にしたり、それからチップにしたり、いろいろな補助チップにしたり、いろいろやっておられました。</p> <p>それとあとは、鳥取県のJAがやっておるホームセンターで販売しているウッドブロックとガーデニング資材とかといったようなところで、家庭用の営農関係ですかね、今よくはやってる、そういうようなもんにも利用するとい。工夫をされれば、そういうようなもんもできるんじゃないかと思ますし。</p> <p>それとまた、農業に関してですけども、神崎・大河内ともにコシヒカリが大変良質米といことで、今でも売れておるわけなんです。そういうふうなことで、減反政策においても、やはり県の方へ働きかけをしていただいて、やはり減反数を少しでも少なくして、そして価格といのを上げていって、そして生産量を上げると。そういうふうな方も今後合併の一つの、合併してこういことができるんやなといようなことで、やはり取り組んでいただきたいと、このように思っています。こういことをすることによって、やはり兼業農家であっても、米を作る意欲ができるんじゃないかと思ますし。</p> <p>それで、こんなことを余りこうい場で言うとおかしいんですけども、米を作って、農家へも少しでも米を分けてくれたり、何ぼ何ぼでよろしいですよ、農協であってよりはるかに高い値段で買っていただくといのがこの辺の米なんです。そういう政策的なもんも合併の一つの利点としてやっていっていただきたい、このように思います。</p> <p>それと、過疎による問題とかいろいろさっきから出てましたけど、それと観光の問題も特に自然観光を両町とも売り物にしておるわけなんで、今後そういったものもやはり両町あわせての、やっぱり先ほども出ておりましたルートの問題ですね、それによって一日両町で暮らせる、といふうな、遊んでいけるといようなことで考えていったらいいんじゃないかと思ます。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>そういうふうなことで、たくさんの今から出ます検討課題のように、この問題についていろいろとこういふふうを考えております中で、まだまだもっともっと根本的な問題も今後出てくると思いますんで、またそのときには皆さん方のご意見を踏まえながら、より発展的な、そして将来新しい町には、取り組んでいったらいいんじゃないかなと私も思うとるところです。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ほかに。</p> <p>どうぞ。</p>
難波委員	<p>今、両町で5カ所ほどの観光施設があると思いますけども、観光施設でございますので、魅力あふれるということがテーマとなってきますけども、こう考えますとなかなか大変かと思えます。それで、観光施設という位置づけを少し変えて、保養施設というぐあいに見てみたらどうかと。保養施設でございましたら、当然長期滞在ということが考えられます。それで、先ほどの課題の中で休耕田とか間伐とか、そういうような労働力不足という課題が上がっておりますので、保養施設で長期滞在の方にそういうようなところを任せてみてはどうかと思います。今、リストラでありますとか早期退職などで熟年層の方の時間が大変余ってきております。そういった方に人生の充電期間中にそういうようなことで一遍来ていただいたら、我々から見たらそうでもないんですけども、都会のそういう方からしてみると、かなり新鮮なところではないかなと思いますので、思いつきですけども提案させていただきます。</p>
井上（委員長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>ほかに。</p> <p>何でも結構でございます。</p> <p>ございませんか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
井上（委員長）	<p>それでは、ないようでございます。</p> <p>いろいろなお意見をいただきましてありがとうございます。</p> <p>これで産業・建設部会の発表を終わります。</p> <p>ここで10時25分まで休憩をいたします。</p> <p>午前10時11分 休憩</p> <p>午前10時25分 再開</p>
井上（委員長）	<p>次は総務・文教分科会でございます。</p> <p>発表者の藤原委員さん、お願いをいたします。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
藤原（日）委員	<p>最初は、テーマ1の「地域社会での生きがい」をはぐくむ生涯学習、スポーツ活動でございます。よろしく願いをいたします。</p> <p>神崎町の藤原でございます。よろしく願います。</p> <p>総務・文教分科会の方では、本来長である藤原博一さんの方から発表いただく予定でしたんですけども、先ほど委員長のご紹介にもありましたとおり、所用でご欠席でございますので、同じ藤原の名字ということで神崎町の藤原が、不肖、発表させていただきます。ちょっと座ったまま説明させていただきます。</p> <p>当初、A4判の方で説明をさせていただこうと思ってたんですけども、時間の方がたっぷりあるようでございますので、A3判のワークショップで使った資料、これに基づいてご説明を申し上げたいというように思います。</p> <p>まず、資料の方の誤字の方、3カ所ほどございますのでご訂正をお願いしたいと思います。</p> <p>まず、課題の柱1番の上段にあります問題点の下に、「分化」、「分かれる化」と書いてございますけども、これは「文化的」の「文」、「文章」の「文」でございます。</p> <p>それと、課題の柱3のところの中段の一番左、「基礎学力が要請されていない」、「要請」、これは「養う成す」の「養成」でございます。</p> <p>それと、その下段にありますとおり、「補助教育の設置費用」と書いてありますけども、教育の設置費用でなくて「補助教員の設置費用」。</p> <p>以上の3カ所のご訂正をお願いしたいと思います。</p> <p>それではまず、課題の柱の1番であります「地域社会での生きがい」をはぐくむ生涯学習、スポーツ活動についてということでございますけども、パシフィックコンサルタンツの千田さんのご指導によって、割合スムーズにまとめることができたんですけども、深く突っ込むまでは至りませんでした。その点はおわびを申し上げたいというように思います。</p> <p>まず、一番上が具体的な状況、中段がその要因、下段がこれから必要と考えられる取り組みということでございますので、以下、上段、中段、下段という表現でご説明を申し上げたいと思います。</p> <p>まず、上段の一番右、幼児施設は充実しているということでございますけども、神崎町においては、きらきら館に代表されるように幼児のための施設は充実しているのではないかというのが認識でございます</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>して、これに対して、中段に書いてございますとおり、大河内にも欲しいねという意見は出ました。これは一委員の意見ですけども、幼児のための施設が大河内にないのは当局の怠慢なのかなと。これはちょっと当局の方には申しわけないんですけども、そういう意見が出たということでご理解いただきたいと思います。</p> <p>それに対して、下段でございますけども、幼児のための施設というのは、神崎町と大河内町で、新設するんでなくて共同利用するという形が望ましいのかなという意見が出ておりました。</p> <p>現在、いろいろ施設はありますけども、ほとんどが大人向きの施設でございまして、子供を育てる配慮が少ないんじゃないかなという意見が出ております。</p> <p>それに対して、中段に戻りますけども、子供たちが楽しく遊ぶ場が子供向きにないんで、豊かな自然に親しむところが欲しいねという意見も出ております。</p> <p>生涯学習施設、スポーツ施設というのが充実してるというのは共通の認識でございました。</p> <p>それに対して、上段の右から2番目になりますけども、施設は充実しているけども、その利用度が低いんじゃないかと、利用頻度が低いんじゃないかということです。年々文化活動等は活発になっているものの、地域ごと、年代ごと、団体ごとになってしまっていて、全町的にいうところまでは至っていないと。また、参加者が限られているという認識でございます。</p> <p>その原因を考えた場合に、その下になります、どこにでも施設はあるんだけども、何してもスポーツ等についてはやっぱりインストラクター、指導者というのは重要な部分を占めますので、そのインストラクターなどの特色づけというか、この分野についてはこのインストラクターというような特色づけが必要ではないか。要するに、今のところは特色がないというのが原因ではないかと、及びアクセスが不便であるという、この特色がない、アクセスが不便であるというこの2つの理由によって利用頻度が高まってこないんじゃないかなというように考えています。</p> <p>中段になります。施設へのアクセスが悪くて平日の利用が難しいと。一方、娯楽が多様化しているので、魅力的なイベントがなければやっぱりそっちに参加しない。で、利用頻度が低いということになってくるんじゃないかということです。</p> <p>同じことになりますけども、利用者も、夏とか冬とか特定の季節に</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>ついて利用はあっても、四季を通じて平均して利用されるということがちょっと言いにくいねと。今後の利用のあり方を考えねばならないけども、希望としては観光コースの有意義な利用ということで、観光コースとそういった生涯学習施設、スポーツ施設等を結びつけてネットワーク化が必要ではないかという意見が出ております。</p> <p>この利用頻度等にも関係してくるんですけども、あとスポーツ施設の老朽化ということも指摘されました。上段の右から3番目でございます。特に、神崎町グリーンエコー笠形のテニスコートに代表されるように、スポーツ施設が老朽化していると。反面、大河内町のコートは新しいねということです。</p> <p>それと、老朽化しているという面と、それから現存してる生涯学習施設、スポーツ交流施設にどんなものがあるかわからないという意見が出ております。これは中段の下に書いてございましており、やっぱり広報不足というようなことが関係してくるなというように思います。</p> <p>先ほどのスポーツ施設の老朽化という面ですけども、これは中段の丸に書いてありますとおり、維持管理費用の問題が発生してきます。スポーツ施設のメンテナンス経費を支出する財政的な余裕がないと。両町の施設、グリーンエコーであるとか桜花園、ピノキオ館、ホテルモンテローザ、こっとな亭、峰山と、いろいろ施設はありますけども、これから補助金をカットされた場合、維持管理をどうするんだという意見が出ておりました。</p> <p>先ほどの維持管理の費用と、それからあと施設の問題ということで出ておりましたけども、その下の下段に書いてありますとおり、このとげとげの分です。だから、すべての施設を維持管理するのではなくて、本当に必要な施設はどれなのかということを選んで、そのみをやっぱり維持管理する必要があるだろうと、というか、せざるを得ないだろうというのが意見でございます。</p> <p>あと、先ほどのどんなものがあるかわからないという関係ですけども、中段の下に書いてあります広報不足というのがやっぱり一番大きな原因になってくるのかな。</p> <p>それに対してどうするかということで、下段の中ごろに書いてありますホームページでの表示と。専用広報冊子の発行などをして、活動とか発表、活動の発表の場をやっぱり作っていくべきではないかというのが意見でございます。</p> <p>これらをまとめますと、既存の設備について必要な施設のみを維持</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>管理して、それ以外の既存の設備については、幼児施設等々の新しいニーズに合った施設に転換していく必要があるだろう。そのためには、やっぱり発想を変えていく必要があるだろうなというのがこの施設整備に関すること。いわば、これがハードの部分に相当するのではないかというように思います。</p> <p>一方、ソフト面で言えば、左に書いてありますとおり、活動内容に関することということになるかと思えます。その活動内容に関しては、充実している点と書いてございますとおり、校区単位でスポーツ21というのが立ち上がって、日を追って充実してきているという認識がされております。</p> <p>文化活動についても、数多くのサークルがあって、互いに交流の楽しさを味わっていると。ただ、各スポーツ活動が町主体なのか、集落、プロジェクトを中心に検討する、これはちょっと意味がわかりませんが、一応文化活動、それからスポーツ活動については充実しているねというのが共通認識でございます。</p> <p>その下に枠で囲んであります高齢者を中心に施設の利用が増加している。これは多分大河内のことだろうと思うんですけども、特に温水プールなどで60歳から70歳の方々の利用が進んでいると。</p> <p>これを考えてみる場合、矢印が書いてありますその先の中段のところを見ていただきますと、プールなどを利用するとその効果が短期間で体験できるからということですね。</p> <p>それについては、さらにその下段の方に結びついていきますとおり、農村地域の人々の思考を変えて健康の大切さを訴えたと。スポーツは健康の貯金と考えると。こういう点がやっぱり大事ではないかということです。</p> <p>ただ、充実している反面、問題点もございます。上段の左から2番目に、見ていただきますと問題点ということで、文化・スポーツサークル等の種類とか内容が不明であると。大河内の文化協会があるとか高峰啓太郎さんのことも知らなかったという例があって、そういった、まだやっぱり広報不足、PR不足、先ほどの説明しましたけどもやっぱり広報不足で、ホームページでの表示という、こちらの方に結びついていくのではないかということです。</p> <p>この活動内容についてになりますと、やっぱり活動されている方とされていない方の間でやっぱり活動というか、認識のギャップが大分あるねというのが統一意見でした。</p> <p>先ほどの活動についてですけども、ただ問題点、PR不足という面</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>もありますけども、もう一点、その中段に書いてありますとおり、閉鎖的な組織、いわゆるスポーツクラブ21にしても結成要因が、補助金がついたから校区ごとに競争意識もあって設置したもんであって、変えようという意識が余りないなど。新しい参加者を入れようという気が余り感じられなかったり、そのサークルについてもやっぱり閉鎖的で新しく加入するにもなかなか加入しにくいという現状があると。組織が閉鎖的ではないかという意見が出ております。</p> <p>及び、参加者に対する配慮が不足しているのではないかと。その右になりますけども、参加者に対する配慮が不足しているのではないかとということも意見が出ました。町全体の体育行事に各集落ごとの行事が日曜日で重なってしまうと。で、実施されていない。これ、多分日曜日が重なってしまうから実施が難しいんじゃないかという意味だろうと思います。体育行事で各集落ごとにやるけども、町の行事と集落の行事が日曜日で重なってしまうからなかなか難しいと、参加がなかなか難しいから、もっと参加者に対する配慮をすべきではないかという意見だろうと思います。</p> <p>これに対してどうするかということで、下段になってきます。やっぱり、交流という言葉が一番キーワードになってくるんじゃないかなと。我が町においても、さらに交流の輪を広げて継続を期待したいと。あと、場所が一方的に偏ることのないように交流会場を設営してほしい。やっぱり、交流ということが一番キーワードになってこようと思います。</p> <p>あと、スケジュール、先ほど参加者に対する配慮不足という点が中段で出ましたけども、それに対してはやっぱりスケジュール等の参加者への工夫が必要であろうと。年間の町内行事のスケジュール調整を行って重複しないようにする。各世代が参加できるように活動の内容を工夫する必要があるのではないかと。補助制度がなくても、スポーツ21は今後中心組織として継続してほしいと。ただ、各クラブの交流が必要であろうという意見は出ております。</p> <p>ここで、下にとげとげの分で書いてありますとおり、交流と、それからあと閉鎖的で硬直的な組織を改めて、やっぱり開放的で柔軟な組織化というのが重要であろう。閉鎖的にならんようにしなくてはならないねというのが、この地域社会での生きがいをはぐくむ生涯学習、スポーツ学習ということでの話が出ております。</p> <p>A4判でまとめてありますので、その分も目を通していただいた方がわかりやすいと思います。A4判の方をごらんいただいて、課題の</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>柱1ということで、2つの論点、ワークショップでは活動内容に関することと施設整備に関することのこの2つの論点がありました。</p> <p>活動内容については、校区単位、小学校区単位でのスポーツ活動が充実してきておって、文化活動についても数多くのサークルが活動し交流が進んでいるという反面、新しい参加者を受け入れようとする意識や、スケジュールの工夫によって参加できる人を増やそうとする意識が低いと。で、閉鎖的で硬直的な組織が多いんじゃないかという指摘がありました。参加する人、そうでない人の意識のギャップというのが大きいねということです。</p> <p>このため、各世代で参加できるようなスケジュール調整やだれもが参加できるような工夫を行うとか、あと交流・参加しやすい組織づくりを進めていく必要があるということです。</p> <p>ハード面での施設整備に関することで言えば、施設はそれなりに整備されているけども老朽化の問題がありますと。あと、アクセスが不便であると、特色がないと、施設があってもPRされてないというような諸問題があるということです。</p> <p>このためにどうすればいいかということで、わざわざ利用したくなるような特色づけ、あと広報、PRを進めていく必要があるでしょうと。老朽化施設の今後の維持管理費用を考えた場合は、幼児施設などの新しいニーズに合った施設やその工夫を凝らした施設に転換していくことも検討すべきではないかという提案がなされてました。</p> <p>課題の1については以上でございます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま発表をいただきました。</p> <p>何かご意見をお伺いしたいと思います。</p> <p>どなたか、ございませんか。どんなことでも結構でございます。気楽にひとつご発言をいただければと思います。</p> <p>どなたか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
井上（委員長）	<p>それでは、ないようでございますので、続いてテーマ2の「住民の主体的なまちづくり」について発表をお願いいたします。</p>
藤原（日）委員	<p>それでは続きまして、課題の柱2「住民の主体的なまちづくりへの参画」ということで、A3判に基づいてご説明を申し上げます。</p> <p>この状況でございますけども、上段に書いてございますとおり、集落単位では一応機能していると、まちづくりへの参画というのは集落単位では機能しているものの、町民全体での参画というのはなかなか</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>なされていないということです。下に書いてありますとおり、自治組織は集落単位での問題に対しては機能しているけども、町全体にかかわる案件に対しては対応できていないではないかということです。</p> <p>地域単位で行っている取り次ぎを行政が間接的にバックアップできればいいんじゃないかというのが意見でございまして、つまり特色がないと、住民参加に関してほかの市町村と似ていたり同じことをしているんじゃないかと、特色がないねということです。これは原因にもかかわってくるんかもしれませんけども、行政当局とは別に地区や区長や評議員さんが末端の活動を担っておられて、この自治組織、区長さん、評議員さん、協議員さん、そういった自治組織への意図的な働きかけが十分ではないのではないかと出ております。これが具体的な状況。</p> <p>あと、その右側の下側にありますとおり、集落による格差が大分あるねと。お金の要らない活動は既に行っているものの、まちづくりへの参画という面言えば集落ごとによって大分格差があるんじゃないかというのが意見でございました。</p> <p>これに関係してくるんですけども、また財政の問題というのが一番大きな問題になってくるのかなと。財政的にも大きな支援を期待しての行事、催し物には限界があって、まして、まだこれから財政的な問題が絡んでくるんで、いろいろ難しい面が出てくるねというのが現状の認識でございます。</p> <p>それに対して、その要因について考えてみると、もはや何でも行政がやってくれる、中段の上側になりますけども、何でも行政がやってくれる、してくれるという時代ではありませんと。なぜこうなったのかというのは、バブル期に予算をふんだんに盛り過ぎてやり過ぎた結果なんで、本来今は行政主導の時代ではないでしょう。</p> <p>その左にとげとげで書いてありますとおり、行政主体、主導というのが一つの原因になっていて、ただ住民の関心の低さ、住民の無関心さというのも問題ではないかという意見が出ております。</p> <p>こういった反省を踏まえて、その中段の左から2番目に書いてありますとおり、組織化が必要ではないか。広域的な問題に対しては意見を集約できる組織が存在してないんで、やっぱりそういった組織が必要ではないかという意見が出ております。</p> <p>行政主導の時代ではないということで申し上げましたけども、行政に期待する役割というのは、やっぱりアドバイザー的な役割、行政はアドバイザー役に徹する方がいいんじゃないかというのが意見でござ</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>います。</p> <p>一方、権限移譲ということもやっぱり必要であろうと。利害関係もありますんで、余り権限が委譲されてないという問題もあるんですけども、やっぱりこれからは権限移譲ということを考えていかないとなかなか難しいんじゃないかと。</p> <p>あと、先ほどの集落による格差ということで、一番上段のところでご説明を申し上げましたけども、これについては集落のそういったまちづくりへの参画についての標準化するようなシステムというのが必要ではないだろうか。これを言っているのか、集落合併の必要性ということもやっぱり考えていく必要がある。それも踏まえた上での標準化するようなシステムというの、やっぱり考えていかざるを得ないのではないかとこのように考えられます。</p> <p>それとあと、それに対してどのようにしていくかという、下段の取り組みの問題になってきますけども、これから求められる住民活動や組織はどうあるべきかということ考えた場合に、下段の一番左に書いてあるように、やっぱり独自性と競争原理のある活動組織づくりが必要になってくるであろうと。ちょっと繰り返しになりますが、特色とか特産品等を生かした独自性のある活動が必要である。</p> <p>各自治組織ごとの競争原理もやっぱり導入すべきではないか。自分たちの住環境維持とか自治区間の課題はまず自分たちが主役になることで解決する道が開けるもんだから、そういった住民の無関心さがあるけども、そうではなくてやっぱり自分の問題としてとらえていくべきであろうというのが意見でございます。</p> <p>あと、先ほどの行政主導でない、それからアドバイザー、権限移譲、組織化の必要性ということを申し上げました。それに対してどのように取り組んでいくかということですけども、従来は行政が計画するハード面のまちづくりというのに、それに直接利害関係がある町民のみが直接参加していくというパターンであったと。ただ、最近では少し変わってきて、まちづくりの意味が変わっているんじゃないか。今後は地域の意思というのをやっぱり育てていくことが必要であろうし、そういったまちづくりが必要であると。そのためにはやっぱり権限移譲というのが必要ではないかという意見です。</p> <p>問題が顕在化してる、今までの問題、行政主導の問題とか、それからあと住民の無関心さとか、そういった問題が顕在化してきて、これからはやっぱり地域の枠を越えた組織づくり、行政との連携というのが必要になるところということなんです。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>それに関係してくる住民広報、これからは住民への広報というのが大切になってくるだろうという意見が出ております。上段の右から2番目のところでございます。住民広報の問題ということで、神崎町の例で言えばK - N E T、ここの局舎になりますけども、こういったのが充実しているねと。I TであるとかC A T Vを活用する必要があるという意見でございます。</p> <p>当然のことながら、これはK - N E Tをますます有効活用を進めて推進していく必要があるだろうと。先ほどの集落の格差というのも関係してくるんですけども、広報・啓発活動というのも重要になってくるということです。行政サービスのうちのコンピューターネットワークで対応できるものはそれに置きかえるであるとか、それからこれは施策に関係してくるんですけども、神崎町だけでなく大河内町の方においても早急にK - N E Tの整備は行うべきであろうと。そのメリットをやっぱり両町で享受していくということが必要であろうというふうに考えます。</p> <p>あと、広報の方で必要なのが、今なぜそのまちづくりへの参画が必要なのかということを広報する必要があると。傍観の時代じゃないんだ、これからは参加する時代だということを、やっぱりK - N E Tその他の広報手段を通して住民の方に訴えていく必要があるであろうということです。</p> <p>町民とか区民に新しいまちづくりのポイントをP Rすることが大切であって、合併の歩みは、住民はどうかかわっていくかということをやっぱり広報・啓発していく必要があるだろうということです。まちづくりのポイントのP R、その意見や参画を得るということが大事だと。</p> <p>ちょっと順番になるんですけども、私どもの分科会の方では検討しやすい方から入りましたんで、先ほどのスポーツ活動、生涯活動、スポーツ活動、それから今度3番目、これは後で説明をさせていただきますけども、地域の教育に関する地域の連携という、2番目にやりまして、最後に一番難しいと思われるまちづくりへの参画という問題をやりましたんで、ここにその他の項目をまとめてます。ちょっとこの問題とは離れるかと思えますけども、掲載されてますんで、そのことについて説明をさせていただきますと、一番右になります。</p> <p>その他の意見として、消防と自主防災の連携ができるとよいと。昼間若い人が地域にいない。これは先ほど民生・福祉の分科会の方でも申されました。同じことでございます。消防・防災に関する意見が多く出されたということを聞いておりますけど、まさに消防と自主防災</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>の連携が必要であろうという意見で共通しております。</p> <p>その次の環境一斉美化運動が定着してきたけども、年1回、2回で集落によって毎回実施して効果を上げている例があると。これは先ほどの課題の2、現在話をさせていただきました、一番最初に話をさせていただいた集落単位では機能してるけども町民全体の参画がちょっとばらつきがあるねというようなことにも関係してくるんじゃないかというように思います。</p> <p>あと、ノンポリが多い。ノンポリティカル。</p> <p>それから、それを1つ飛ばして、昔バブルで忙しく、今不況で生きるのに精いっぱい。これが先ほどの中段の一番左にとげとげで書いてある住民の無関心さということに結びつくのかなというようにも思います。</p> <p>あと、ノンポリの下、交付税、補助金の削減により行財政運営が大変と聞いている。</p> <p>1つを飛ばして、行政の想定を上回る地方交付税、補助金等の削減がある。これは途中で申し上げました、上段のちょうど真ん中にあります財政の問題ということに結びついてこようかというように思います。</p> <p>あと、職員数の適正化が必要であるとか、高い分野への職員をシフトする必要があるんじゃないかというような意見も出ております。</p> <p>とにかく、この課題2、課題1、課題3だけでなく、すべてこの総務・文教分科会に関する問題を考えた場合、やっぱり交流というのがキーワードになってくるのかなと。交流と、あとあえて言うなら開放的で柔軟性のある組織づくりという、この2点がこの問題を考える上でキーワードになってくるんじゃないかというのが意見でございました。</p> <p>この2につきまして、今度A4判の方で説明を繰り返すような形になりますけども、ちょっと時間の方もたっぷりあるようですので、申しわけないんですけど。</p> <p>「住民の主体的なまちづくりへの参画」ということでございますけども、町全体としての住民参画をどのように進めるかが課題であると。集落単位の住民参画は機能しているけども、町全体にかかわる案件に対して対応ができていない。住民参画に特色がない、あと、広報不足ではないか、働きかけ不足ではないかという声も多いということです。</p> <p>集落単位の活動も財政の問題が大きな課題となっており、集落によ</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>る格差も大きい。</p> <p>あと、これまでの行政主導から住民主体へのまちづくりへ移行する必要があるんだけど、この問題はこれまで行政主体のまちづくりが進められてきた弊害であるという指摘もあるけども、反面、住民の無関心さというのも問題ではないかという認識も強いということです。</p> <p>このため、今後は広域的な問題に対応できる組織化を図って、行政もアドバイザー役に徹して住民に権限移譲していくことが重要であろうということです。</p> <p>集落の格差是正については、集落合併も含めて標準化するようなシステムの検討をしたり、住民広報についてはK - N E Tを有効活用するというのが有効ではないかということです。</p> <p>これが、これから求められる住民活動、それから組織等のあり方に関することなんですけども、具体的な住民参画としては特色・特産を生かした独自性のある活動をしていく必要があって、各自治体ごとの競争原理を導入するなどの仕組みも大切ではないか。</p> <p>今後は、町の意味を育てるまちづくり、要するに町の意味、住民の意思というのが大事になってこようと思いますんで、まちづくりを進めて権限移譲を進めていくほか、地域の枠を越えた組織づくりと行政との連携。ですから、本当に交流、それから組織づくりと行政との連携というのが大事になってくるのではないかと思います。</p> <p>これからの住民啓発・広報に関することを言えば、これからは今なぜまちづくりへの参加が必要なのか広報することが重要だと。ただ、広報するだけでなく、新しいまちづくりのポイントをPRして意見や参画を得やすいようにすることが、やっぱり大切ではないかという意見が課題の2についてのまとめになるうかと思います。</p> <p>以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>発表は終わりました。</p> <p>ご意見をどうぞ。</p> <p>どなたか。</p> <p>どなたかございませんか。きめ細かにご発表いただいておりますが、何かそれにつきまして、どんなことでも結構でございますので、ひとつご発言をいただきたいなと思います。</p> <p>ございませんか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p> <p>井上（委員長）</p> <p>それでは、ないようでございます。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
藤原（日）委員	<p>最後に、テーマ3の「子どもたちの教育に係る学校・家庭・地域の連携」につきましてお願いをいたします。</p> <p>先ほどの両分科会さんの方では高齢化ということがやっぱり問題になっておったようですけども、子供たちの教育ということを考えた場合は、やはり少子化というのが一番大きな原因になってこようというように思います。</p> <p>資料に基づいてご説明を申し上げます。</p> <p>少子化によって、さまざまな問題が起こっているということです。これの具体的な例というのが、上段の右から2番目に書いてございます小学校生徒数の減少という具体的な数字を挙げていただきました。大河内町の5校の児童数の推移ということで、こういった形でどんどん減っていくよという実例が挙げられております。</p> <p>この少子化によって、どういう問題が出てきたらうかということで、2つに、教育レベルの低下という問題と、あと人間形成への影響という、この2点の問題がやっぱり一番大きな問題ではないか。</p> <p>教育レベルの低下の問題なんですけども、少子化で、確かに仲はいいんだけど、競争力がなく、ちょっとやっぱり乏しいと、自立心のない子が多くなったように感じておられます。両町において、小・中学校の教育レベルの低下が見られるんじゃないか、ちょっと憂うべき事態になっているんじゃないかという認識がされております。</p> <p>それと、人間形成という面ですけども、そのちょうど真ん中、左から3番目に書いてありますとおり、遊び体験が変化してきてる。自然の中で遊んだり体験できる機会が少なくなって、学校との連携もやっぱりちょっと希薄になってるのかなと。都会のかぎっ子と同じような状況の子供が徐々に増加しているように思って、遊びが体を使った遊びでなくて、コンピューターゲームとか、あぁいった内々で個人的に遊ぶような遊びが増えてきているんじゃないか。これがやっぱり2番目の人間形成への影響というのが出てきてるんじゃないか。</p> <p>子供たちにゆとりがない。あと、少子化によって子供たち同士の連帯感が希薄になっている。</p> <p>ちょっと飛ばしまして、数少ない子供たちが学校から帰れば、すぐ塾とか、それからお互いの遊びを通しての人間形成に欠けていると。だから、子供同士の人間関係を築く機会が余りないねというのがやっぱり問題になってきてます。</p> <p>その枠内での一番下、家庭内の親と子のひずみが、孫の登校拒否まで生じてると。そこのところちょっとわかりませんが、親と子のひ</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>ずみが、子供の、孫の方まで影響を及ぼしてると。家庭内でもやっぱりそういったはずみが出てきているということです。</p> <p>あと、その上になりますけども、小・中・高校生のあいさつマナーというのは、これは重要になってきます。やっぱり、あいさつができてるところはきちっとしてると。その例として神崎高校の例が出ましたけども、最近校長先生の努力もあって非常に生徒がしっかりしてきた。それに対して、地域の方がやっぱり関心度も向上してきて積極的に高校の活動に参画してるんで、これは非常に望ましいことだと。やっぱり、地域とのかかわりというのは非常に大事だということです。</p> <p>さらに、上から2番目ぐらいに戻りますけども、車社会で近隣でもお互い会話が少なくなってきたというのが、やっぱり子供だけでなく、それを取り巻く大人の環境でもお互い会話が少なくなってるんじゃないかという問題が出てきているという認識です。</p> <p>それに対する認識、その要因なんですけども、中段に書いてあります、そこに住む人たちの心の問題、傍観者のになっているのかなということです。</p> <p>あと、親と教師と子供のコミュニケーションが不足しているのかなということです。</p> <p>ちょっと遊び体験の方に戻りますけども、遊び体験の変化ということで、ちょっと言うたかもしれませんが、外の遊びへの奨励を真剣に考えなかったせいでテレビゲームに育てられた子供が増加していると。子供同士の遊びが減ってるということが、やっぱり大きな問題であろうということです。</p> <p>ゆとり教育のことですけども、先ほど教育レベルの低下ということで申し上げましたけども、これは中段に書いてありますとおり、これは町単位でもしくは県単位で考えられる問題でなくて、本来は国の文部科学省の問題でございますんで、とやかく言うことではないかもしれませんが、ゆとり教育の名のもとにやっぱり十分な基礎学力が養成されてないから、やっぱり教育レベルの低下というのが見られるのかなということです。</p> <p>ちょっと話戻ります。先ほど親と、その右になりますけども、親、教師と子供のコミュニケーション不足があると。子供に対する人格の尊重という問題とほったらかし、無関心等の問題が混同されているんじゃないかと。ちょっと勘違いされて、ほったらかすことが人格の尊重であるというような誤解をもちとられる方もいらっしゃいますということです。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>あと、学校とのかかわりと言えば、卒業とともに学校とのかかわりが少なくなるということです。</p> <p>これに対して、取り組みということなんですけども、その下の下段になりますけども、地域とのかかわりというのがやっぱり重要になってくるだろうと。幼児、小学生、中学生との交流を図る。この図るも「計測」の「計」じゃなくて「図書」の「図」ですね。図る、意図するだけでなく、高校生やもっと上の子供とも接点を作る必要があるだろうということです。</p> <p>子供は学校や家庭が育てるのではなくて、やっぱり地域全体で見守っていくという姿勢が大事だろうと。そのためには、やっぱりお年寄りとの交流等も深めていく必要があるだろうということです。</p> <p>先ほどのところでも、中段にもあるんですけども、犯罪という面で考えれば、それを守る交番の留守が多いねということもちょっと出たんですけども、大切なのは、一番下の2番目に書いてありますとおり、やっぱり大切なのはまず家庭だと。犯罪の芽というのも、やっぱりほとんど家庭で摘み取ることができるんじゃないか。あと、警察との連携やったり情報交換が必要ではないかという意見です。</p> <p>また、遊び体験の関係になってくるんですけども、それに対する取り組みということでその右下段のちょうど真ん中辺を見ていただきますと、親子で町内の自然・歴史を学ぶ活動を取り入れる必要があるだろう。スポーツクラブみたいな学区単位のコミュニティースクール活動をますます推進していく必要があるであろう。同じ意見になるかと思えますけども、地域や家庭が子供たち同士で遊ぶことの必要性を感じるように啓発していくことが必要であって、子供たちが喜ぶ地域の施設の開放とか学生アルバイト等による遊びのリーダーを配置する必要があるんじゃないかという意見が出ております。</p> <p>これと関連して、教育レベルの問題になってくるんですけども、これもちょっと財政的な問題が関係してくるんですけども、不便な面とか老朽は改良しても、できるだけ今のよい点は残して特徴を残すと、画一的にしないと。</p> <p>あともう一点問題出ましたのは、学力充実のための教育支出は惜しむべきではない。算数の補助教員を配置するとか、そういった町独自でできる分については、補助教員を配置するなりしてそういった費用の支出はどんどんやるべきではないかという意見です。</p> <p>あと、学校に関係する特色のある学校づくりということで、一番右の欄を見ていただきたいというように思います。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>一番右の上段になります。特色のある学校づくりは一応進んでいるのではないかと。例えば、越知の第二小学校に代表される山村留学制度、大変な事業ではありますが、一応成果が見られているということです。ただ、問題なのが、その中段に書いてありますとおり、そこに住んでおられる方の高齢化によって里親の受け皿がなくなっている。非常に継続するのが困難だなというのが実感のようです。</p> <p>これからどのように取り組んでいくかということ考えた場合、これはちょっと神崎町のことばかりになりますけれども、第一小学校児童の通学安全のためのスクールバスを望む、特に低学年のため。あと、校区全体での留学制度を維持継続されてはどうかという提案も出ております。</p> <p>逆に、都会の方から生徒を受け入れるだけでなく、こちらから都会へ出ていく都会留学というのもおもしろいんじゃないかという意見が出ていました。山村留学でなくて、地域の子供たちが都会へ出て刺激を受けるような都会留学があってもいいなという意見が出ております。</p> <p>これと関係してきますけれども、その左になります、統合整備、ちょっとこれは分科会で触れるべきことかどうかわかりませんが、一つの意見として受け取っていただければいいと思いますけれども、小学校の生徒数が減少していくという現状を見た場合に、統廃合、統合整備というのはやっぱり考えざるを得ないんじゃないか。具体的なことについては、これ教育委員会のサイドで検討願うとして、小学校の統廃合というのもやっぱり将来的には考えざるを得ないのかなという意見です。将来問題化しそうな案件も見送りせずに、各町ごとに速やかに問題を処理をお願いしたい。難しいでしょうけれどもお願いしたいということです。</p> <p>それとあと、当局にとってやっぱりいろいろ不利になるような情報もあるんでしょうけれども、それをできるだけ公開していただいて、住民広報という面をやっぱり行政サイドに望みますという意見が出てました。同じことになりますけれども、合併によって小学校のスムーズな統合もやっぱり図る必要があるんじゃないか。そして、合併によって児童数が増加する。そのことによって、やっぱり各地の競争力、仲がいいというだけじゃなくて競争力自体のやっぱりアップが望めて、学力その他にいい面を及ぼすことが考えられるんじゃないかということです。そのメリットとして、多人数の中で学校生活を送ることによって、社会に出てからの順応性がスムーズになる可能性が大きくなると</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>ということです。このことについては、いい面、悪い面、両方ありますんで難しい面がありますけども、これからの数字を考えていくとそうせざるを得ないのかなというのが委員さんの実感でございました。</p> <p>以上をまとめますとA4判の形になります。</p> <p>A4判の方ごらんをいただきますと、少子化によるさまざまな地域への影響が出てきていると。少子化による地域への影響が大きくて、特に教育レベルの低下、人間形成への影響の問題などのこの2つの点が非常に深刻な問題になってます。</p> <p>少子化による子供同士の遊びが減少した結果、自然の中における遊び体験とか、体を使った遊びが少なくなってきました。この結果ということかもしれませんけども、教育レベルの低下があらわれてきてますけども、これは少子化の中で仲のよい子供は増えているけども、競争力がなくて自立心に欠ける子供が増えている。あと、ゆとり教育のもとに基礎学力が低下してるということが原因でしょうということです。</p> <p>その結果、教育レベルの低下、著しいのかどうか、とまで言っていないのかどうか、ちょっと教育レベルが危ぶまれるという認識です。</p> <p>その学力を充実させるためには、補助教員の配置等についての教育支出は惜しむべきではないという意見でして、あとハード面の教育施設については、不便なものとか老朽なものは、整備するに当たって画一的な整備は避ける必要があるけども、これから小学校の統廃合ということも考えざるを得ないであろうと。合併によってスムーズな統合を行って、児童数の増加によって各自の競争力が高まって、学力向上とか社会への順応性という面での効果が期待できるんじゃないかということです。</p> <p>あともう一点大事な問題、人間形成への影響ということなんですけども、家庭内の親と子供のひずみ、その関係のひずみとかマナーの問題、犯罪などについては、そこに住む人たちの心の問題ではあるんですけども、傍観者的な態度が大きな原因になっているんじゃないかと。</p> <p>このために、地域とのかかわりとかコミュニケーションが重要であって、例えば親と教師の連携、家庭と警察の連携、高校生と地域の触れ合い、子供とお年寄りの交流と、さまざまな交流とか連携が重要であって、地域全体で子供たちを育てていく必要があると。</p> <p>学校づくりという面では、少子化等による課題を多く抱えている一方で、特色ある学校づくり、例えば山村留学が進められているけども、しかし今後継続困難な状況にあるんで、特色ある地域づくりとか</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>学校づくりにとってはこれを維持・発展させていくことが望まれる。</p> <p>山村留学だけでなく、都会に出て刺激を受ける、逆の都会留学というのがあってもいいんじゃないかというのが委員の意見でございました。</p> <p>以上、課題1、2、3につきまして、途中でも申しましたとおり、やはりこの教育、総務・文教に関する問題は、交流、それから柔軟的で開放的な組織づくりというこの2点が大きなキーワードになってくるというのが共通認識でございます。</p> <p>以上で説明を終わらせていただきます。以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>発表が終わりましたので、テーマ3につきましてご意見をお伺いをいたします。</p> <p>どうぞ。</p> <p>どなたかございませんか。どんなことでも結構でございます。</p> <p>どうぞ。</p>
山下委員	<p>大河内町の山下です。</p> <p>この中で3番の課題に関してという中で、幼児、小学生、中学生との交流を図るだけでなく、高校生よりもっと上の子供との接点を作るということで、ちょっと意見を述べさせてもらったんですけども、実際私も住んでます地域におきまして、大体子供主体の行事というのは秋祭りに代表されるような行事もしくは球技大会とかで、小学生までしか行事に参加するという機会がないということがありまして、それに伴いまして、親御さんたちもその年代までの子供さん持たれている方しか、子供との接点が少ないというのが実情でありまして、そうしますと中学生、高校生の子供たちというのが居場所がない、地域において居場所がないというのが実情じゃないのかなと思っております。</p> <p>実際、私も中学生、高校生のころ地元で何してたかなと思うと、やっぱり学校の友達としか交流しておりませんで、そこで住まれてる、今度子供たちが下の年代の子供たちもしくは大人の方たちと交流する場がなかなか得られなかった。じゃ、そうしてくると何か、だんだん大人になっていくわけですから、今後就職とかというて考えたときに、地元に対する愛着というのがだんだん薄れてきてしまったのかなというのは、ちょっと振り返ったとき思ったわけなんですけども。</p> <p>じゃ、例えば大河内町においても、2年ほど前にちょっと夏になると騒がしくするような子供たちがいたという問題があったわけですが</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>ども、じゃその子たちというのは大体中学生、高校生ぐらいの子供たちなんですけど、その子たちが、果たして何で、その地域に、ちょっと問題を起こしたときに大人たちがあたふたしちゃったのかなというのを振り返った場合、子供たちの地域での受け皿がなかったというのが一つ要因じゃないのかなと個人的にちょっと考えたわけなんですけども、そういう意味で今まで子供会的な行事で扱ってきて、その中ではつき合ったりするわけなんですけど、もう少しその上の子供たちも含めて、何か地域と一緒に活動できるような場ができていけば、そういう問題も少なくなるんじゃないのかなというような気がします。</p> <p>祭りが活発な地域では、そういう子供たちを含めてやられてるところでは、同じような現象あるかもしれませんが、何か本当にこれから大人に育っていく、巣立っていく子供たちも、ひとつ包括的に何か一緒にやっていくような場をそれぞれの地域で活発に模索していただければいいんじゃないかなと思っております。</p>
井上（委員長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>ほかに。</p> <p>どうぞ。</p>
高橋委員	<p>神崎町の高橋です。</p> <p>たくさんいろんな意見聞かしてもらってありがとうございました。</p> <p>今後の、今いろいろ出たのを新町に結びつけるのに、例えば遠心分離機のように、集約して次の施策に持っていかれるかと思うんですが、ちょっとその点また現在の面でそういうふうになるとは思いますけども、私ちょっと教育の面で言いますけども、神崎高校の件でございますけども、本年度の入学者、ようやく定員に届きまして、おかげさんで地域の子供が1年生が多くなったので、少し落ちつきがなかったと思うんですけど、先日子供たちと地域のロータリー・区長会と交流しようかということで、グラウンドへ出て、グラウンドゴルフをしたりテニスをしたりいろんなスポーツを子供と親しむ会を設けたんですけども、主としてこのたび1年生ですから、この来月15日には今度3年生を主にして簡単な作業を一緒にしたりして、子供の進路とかいろんなこと相談に乗ったり、そういった子供と会食というか、バーベキューなんかをして、子供の意見をくみ取っていききたいと、そういう計画をしております。</p> <p>今後とも、地元の高校が健全であるように、また例えば寺前駅とかその他に、これは高校生じゃ困るというような事件があったら、それぞれ注意、指導してもらえばそれだけ神崎校区が浄化されていくと思</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>います。</p> <p>昨年の大きな取り組みは、茶髪の子を全部神崎校区から追放しようと、なくそうということで、何か事が起きたら、その中に茶髪の子がいれば、それは神崎校区の子供ではないと、そういう確信が持てる、昨年1年間取り組んだこと。本年度は、全員たばこの追放に向けて、長時間かかるんですけども取り組もう、そういう意図で動いておりますので、また駅周辺でたばこを吸ったり、そういうことがございましたら、おまわりさんには当然すぐ連絡をお願いできたらと思いますけれども。</p> <p>それから、もう一点、先ほど駅前の問題もあったんですけど、町民の、もうすぐ夏が来ますんで夏祭りがそれぞれ大河内町でも計画されているかと思うんです。旧の町村合併のとき、神崎町であれば越知地区、大山地区、粟賀地区に3町の方々の唯一の各町村の皆さんが寄ってこられて大きな住民の流れが夏祭りの場面で展開されるんかと思うんです。お互いに知り合い、ここのところがつながり、そういうなんもそこででき上がるかと思うんです。できたら、縮小せずに、今後の住民の憩いの場で広げるという意味で、予算もカットされずに、できたらこういう使い道の有効なところへはどんどん予算を出すように計ってもらいたいなと思うわけです。</p> <p>以上です。</p>
井上（委員長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>ほかに、どなたか、ございませんか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
井上（委員長）	<p>それでは、ないようでございます。</p> <p>これで、3部会の発表者の委員さんから、それぞれ与えられました3つのテーマごとに発表をいただきました。また、いろいろなご意見もいただきました。</p> <p>委員の皆さんで、特にこれだけは発言しておきたいな、また意見の追加をしておきたい、こういうことがございましたらお受けをいたしますので、ひとつご発言をいただきたいと思います。</p>
大谷委員	<p>大河内町の大谷です。</p> <p>私、今の3部会話を聞いておまして私の考えるところは、無関心な人が多いんじゃないかと、何事に関しても。町村合併に関しても、本当にどれだけの人がそのことを考えてやられとるかということ。私をちょっと一遍、委員長さん、どれぐらいの関心度があるのかということ。事務局の方からお聞きしたいんですけども。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
浅田（事務局）	<p>なぜかといいますと、無関心の人に関心を持たせて、まず傍観でも何かでも、興味のあるようなことを考えてもらって、その人にこういう活動に参加をしてもらえると、順序的にいかなかったら、時間がなからこう進むとだけでは、こんな町村合併など私はそんなに進むようなことじゃないし、考えない。何しとっても合併するんじゃないかとか、どっちみちせえへんのやったら物言うたっても一緒やがないというようなことのないような、こういう委員会にもしてもらいたいし、傍聴の方も来られてますけれども、その人らどのように考えられて、帰られてどのような報告をされるのか。我々だけがここでして、いやいやケーブルテレビ見たらいいじゃないか、この広報が出るとるやないか、その広報をどれくらい見られとるのかということ、一遍今の現在の状態で、僕、事務局の方で調査をしてもらいたいと思うんですよ。</p> <p>その結果をもって、また参画する人を変えるとか、考え方をせんだら、我々だけがしたっても、あれらがしとんじゃないかというような、私感覚が多いんじゃないかと思うんですよね、私の地区においても。そんな合併とかというような話も余り出ませんし、出んことがいいのか出ることがいいのか、それはわかりませんが、そういう人を増やさんことには、我々だけがこんなしとったっても、それは何人あるんか知らんけど、6,000人ぐらいになるのかわかりませんが、その中のこれだけの人を考えて、それは私外してでも皆さんしっかりした人ばかり来られると思いますけれども、その人がもろもろ帰られて、どのような報告をして、どのようなことを聞いてこられて、またここで報告されるのかという、ただ紙の上を一遍だけはずっと通ったっても、こんなわからへんと思うんです、私なんか。</p> <p>だけど、こういう関心を持つ人をようけい作ってもらって、それからここに参加してもらおう。それが参加してきかけますと、やっぱり広報という参画になりますわね。こんなこと考えなあかん、こんなことしょうかいやということになります。そこで意見があってもいいけれども、何にも無関心は全く私は今町村合併考えるときに、一つもどちらにもつかないという人はやっぱり関心を持ってもらおうような方策を考えてもらいたいと思うんですけどね。</p> <p>今現在、事務局の方でどのようなところまで把握されておるんですかね。関心度というんですか。</p> <p>今、大谷委員から言われた部分につきまして、2月15日に第1回の協議会を開催して以降は、いわゆる神崎町においてはK - N E T、</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
<p>井上（委員長） 藤原（日）委員</p> <p>井上（委員長）</p>	<p>こちらの方からの情報発信、大河内では有線放送を使いたいいわゆる会議、協議会、それから小委員会については傍聴が可能ですということでの平等なPRはさせていただいております。それと、ホームページ、また協議会だよりという広報誌、そういったものについてのいろんな意見なり電話での質問、そういったものを受け皿をとってはおりますけれども、今ご指摘がありましたような、いわゆる協議会へのホームページへの意見とか質問、そういったものは数は本当に少ない現状ではあります。</p> <p>しかしながら、やはりこの協議会または委員会というものは、両町のいわゆる代表して出ていただいております委員ということで、そういったものの中で協議いただいたものについては、私ども協議会の事務局としては、最大限利用できるメディアについてはそれらを活用して情報の発信はいたしております。ただ、その協議会の中で、いわゆる今言われたような関心度の状況調査とか、そういったところまで逆に入れる時間はございません。したがって、そういった中で、じゃ委員会の中で、こういうものについてはこういうふうな形で住民へのPR、周知をやればどうなんだというふうな声を逆に当委員会の方で出させていただきたいなというふうに思うわけでございます。</p> <p>以上です。</p> <p>どうぞ。</p> <p>神崎町の藤原なんですけども、K - N E Tであるとか広報誌の関係で、私が新町の建設計画の小委員会の委員になってるということは皆さんご存じなんです。ですんで、やっぱり事あるごとに今どうなってるという質問は多いです。少なくとも、私だけかもしれないけども、私に関してはあちこちの方から、今どうなってる、この問題どうなってるということの問い合わせは多くて、特にやっぱり一番大きな関心事が残念なことに新町の建設計画小委員会の問題じゃなくて、もう一つの小委員会である町名、新町名と、それから局舎の関係でお問い合わせはあります。ですんで、こういったK - N E Tであるとか広報誌を通して、この委員さんが出てるということがわかっておれば、少なくとも関心のある方はやっぱりこちらの方に聞いてこられる方は多いです。ですんで、これからこういった広報とかその辺をどんどん利用していただいて、住民の関心を高めるということはやっぱり大事なないかというように思います。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ほかに、ございませんか。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
藤原（安）委員	<p>どうぞ。</p> <p>大河内町の藤原ですけども、今の話と重なるかと思うんですけども、各部会の話は今発表していただいたんですけども、これもっと煮詰まった話にしていただきたいなと思うのは、これ1町で話ししてもこういう話は出てくると思うんです。その町だけでもちょっと改革をしていかなあかんという話の中では、こういう話が出てくると思うんですね。ですから、2町合併するに当たって、こういう2町が合併すればこの問題について、こういうふうなことについてはこれがよくなるとか、問題がこれがあるとかというふうな、もっと具体的なことが入ってこんど、これやったら一番最初に5カ年計画とかという冊子、各町からもらった冊子、こういうふうにしていきたいああいうふうにしていききたいとかという要望だけがこれになっていくだけで、結局この小委員会を、最初の会合のときにも、集約していきますと、ですからいろんな意見を言ってくださいというだけで終わったんで、それを集約していく方向にこれは進んでいきよんですけども、ほなそれは最終的にどうなるんかということもちょっと、これを文章化するだけで終わるのか、その辺もちょっとまだ踏み込んで今からしていきますという、その辺をちょっと事務局の方から聞かせていただきたいんですが。</p>
井上（委員長）	<p>そのことにつきましては、この後スケジュール等につきまして事務局の方からご説明をいただくことになると思います。</p> <p>ございませんか。</p>
	<p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
井上（委員長）	<p>ほかにないようでございますので、今回のワークショップの結果を踏まえ、今後のスケジュールにつきまして事務局から説明をお願いをいたします。</p>
浅田（事務局）	<p>どうぞ。</p> <p>ご説明させていただきます。</p> <p>お手元には特に資料を配付をさせていただいておりません。当初ワークショップをするのに、1回だけでいいのか数回持てばいいのかというふうな議論の中で、事務局並びにコンサル、また委員長ともいろいろ相談をする中で、前回のワークショップではいわゆる、いわゆる地域の具体的な状況、そしてそれらがどのようなことからなっているという要因、ここらを中心に積極的な分科会での意見取りまとめというふうなことをお願いしたと思います。</p> <p>そして3点目に、なかなか分科会では時間的な問題もありまして、</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>一部できて、最終的には取りまとめといった部分までなかなかいかなかった分科会もあるかと思います。いわゆる3点目の方につきましては、事務局として考えておりますのは、本日、この前のワークショップ並びに本日の全体会、これらを踏まえまして、行政関係にも新町建設の部会、いわゆる両町の課長さんあたりに集まっていただく部会がございますので、その部会での検討ということも考えながら、私どもが委託をさせていただいておるパシフィックコンサルタンツとも十分協議をして、次回の委員会でこれらのいわゆる集約したもの、そういったものをもう少し見やすくコンパクトにお出しをしていきたいというふうに考えておるところでございます。</p> <p>そして、現在一番ステップの一つとしましては、前々回ですか、両町の新町の現状というふうな課題についての提案をさせていただきました。それらを受けて、今回このワークショップということで、ある程度の作業終了ができたのかなというふうに思っています。</p> <p>したがって、次回からは、次のステップということで合併の必要性、また新町建設の基本方針といったあたりに入っていききたいというふうに考えておりますので、大谷委員の方からもご質問がありました。いわゆる合併のこういった是非、そういった問題も含めながらの一つのスケジュール的なものを持っておりますので、そちらの方でどしどしご意見をいただいて、いいものに作ればなというふうに考えておりますので、私どもも一つの時間的な制約も踏まえながらのスケジュールを組んでおりますので、その点ご了承いただきたいというふうに思います。</p> <p>そういうことで、次回なんですけれども、新町建設計画の場合は夏を一つの大きな山場ということにいたしております。そういうことで、来月の6月16日水曜日なんですけれども、大河内町の保健福祉センターの方で午後から開催をさせていただきたいというふうに思います。</p> <p>そういった中で、また小委員会ではなかなか意見が出しにくい、こういう問題は3つの分科会でやってほしいとかといった声も出していたら、いろんな施策で考えていきたいというふうに思いますので、その辺もあわせてお願いしたいと思っております。</p> <p>とりあえず事務局の案といたしましては、6月16日というふうなことで持っております。これは決定ではございません。本日の委員会の中でそのあたり一番当初でございます平日土、日、夜といった3つのパターンから委員会を進めていくというふうな基本精神にのっとり</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>計画をいたしておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>以上でございます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま今後のスケジュールについて若干ご説明をいただきました。</p> <p>事務局案といたしまして、来月の16日に小委員会を開催すると、このことでございます。これにつきまして、何かご質問等ございましたら、どうぞ。</p> <p>ございませんか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
井上（委員長）	<p>ないようでございますと、このような案で実行をさせていただきたいなと思っておりますが、よろしゅうございますか。</p> <p>〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕</p>
井上（委員長）	<p>ご意見が特にないようでございますので、そのような予定で事を運ばせていただきたいなと、こういうふうに思います。よろしくお願ひをいたします。</p> <p>これで第4回の新町建設小委員会を終わります。</p> <p>本日は、本当に月末、しかも日曜日というようなことで、皆さん方はそれぞれご予定があったかと思いますが、お繰り合わせいただきまして、本当に今日はワークショップにつきましての取りまとめにつきましていろいろご発言をいただいたり、また貴重なご質問、ご意見等もいただきました。今後、また非常にだんだんと難しい問題に取り組んでいくことになると思いますが、ひとつ精いっぱい皆さんで力を合わせて努力していかなくてはいけないなと、こういうふうに思いますのでよろしくお願ひをいたします。</p> <p>それでは、本日の委員会はこれで閉会とさせていただきます。どうも皆さんご苦労さんでした。ありがとうございました。</p>